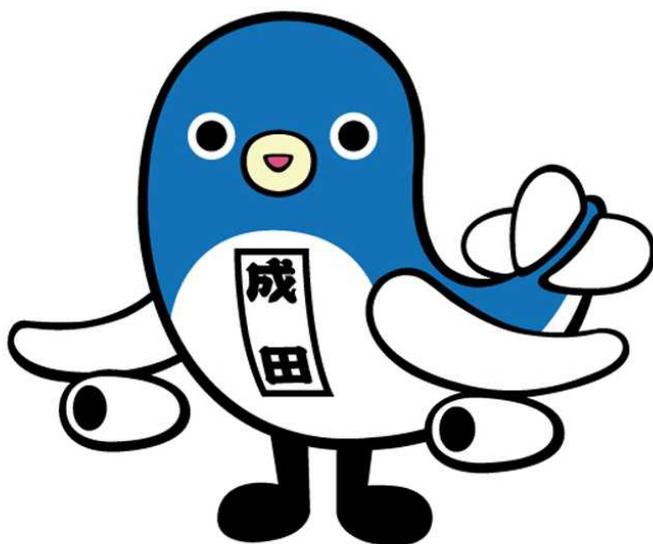


成田市健康増進計画【2017年4月～2027年3月】

中間評価(中間見直し)

概要版



令和5年3月

成田市

成田市健康増進計画中間評価とは・・・

成田市健康増進計画は、市民の健康増進の総合的な推進を図るための方向性や目標を定めたものですが、目標の達成状況や課題を把握し、今後の施策や事業の方向性を定めるため、令和4年度に中間評価を行いました。

中間評価の概要

中間評価にあたっては、本計画に掲げた目標の達成状況について、健康意識調査等で得られた結果から比較分析しています。

指標の判定区分

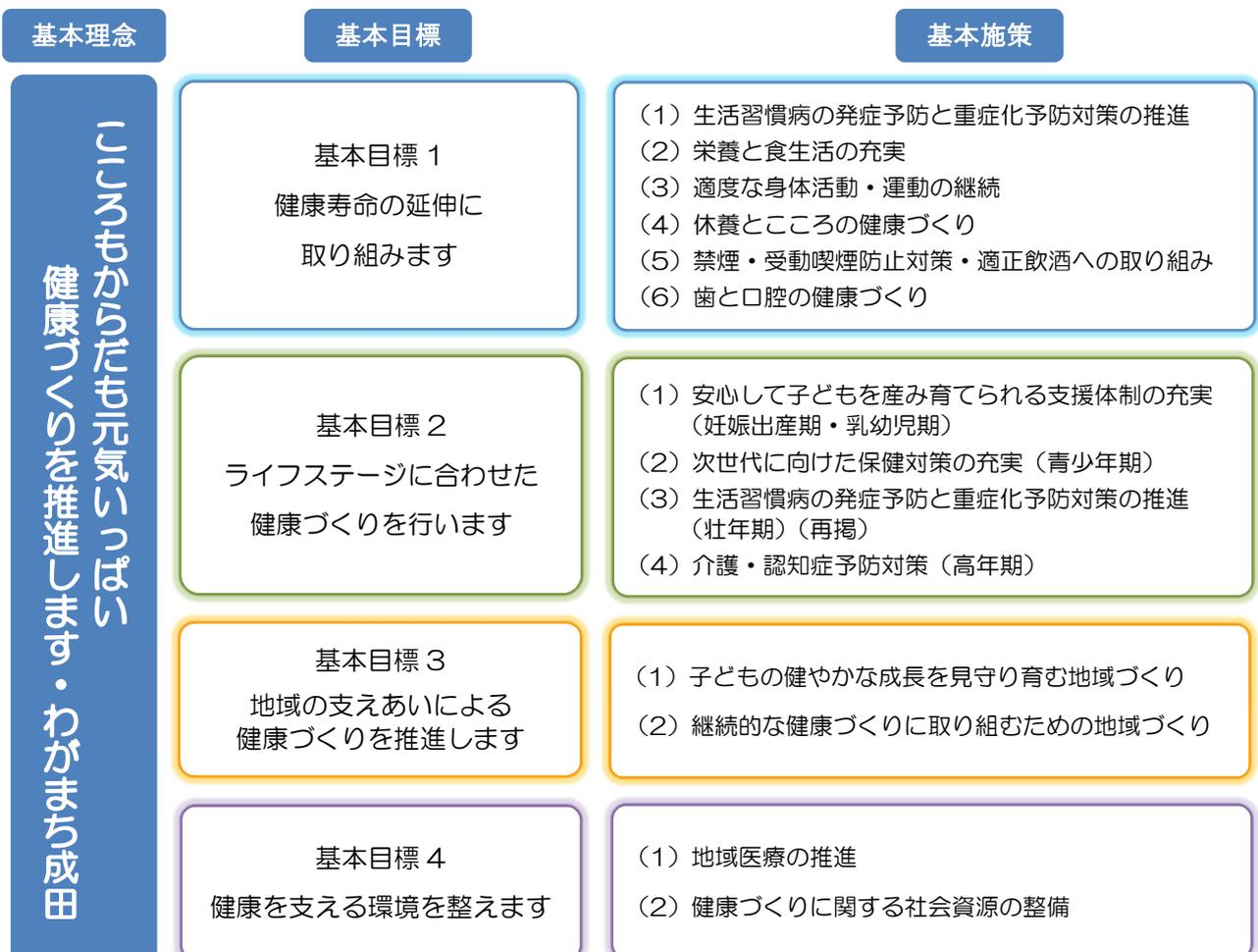
各指標に関して、平成28年度策定時と健康意識調査等で得られた直近の状況と比較するとともに、目標の達成状況について評価を行いました。

【評価区分】

評価	基準	改善率	改善率※
◎	目標達成		+10%以上
○	目標値には至らなかったが、数値が改善	+5%以上	+3%以上+10%未満
△	数値の変化なし	±5%未満	±3%未満
×	数値が悪化	-5%以上	-3%以上

※目標値が「増加」「減少」など数値のない場合の評価。

成田市健康増進計画の体系図



分野別の取り組みと評価結果

【基本目標1】健康寿命の延伸に取り組みます

（基本施策1）生活習慣病の発症予防と重症化予防対策

市が実施しているがん検診を受ける人の割合は、胃がん検診、肺がん検診はほぼ横這い、大腸がん検診、子宮頸がん検診はやや減少、乳がん検診は大幅に低下しています。

指標		平成28年度 策定時	令和3年度 中間値	令和8年度 目標値	判定
胃がん検診の受診率	全体	6.9% (12.7%)※	4.6%	40%	×
肺がん検診の受診率	全体	15.1% (32.5%)※	14.9%	40%	△
大腸がん検診の受診率	全体	17.6% (27.8%)※	13.4%	40%	×
乳がん検診の受診率	女性	20.5% (35.3%)※	10.2%	50%	×
子宮頸がん検診の受診率	女性	18.4% (34.7%)※	14.1%	50%	×

※ 受診可能である対象者の変更（平成29年度より）に伴い、算出方法が変更となったため、括弧内は策定時（変更前）数値を表示しています。

（基本施策2）栄養と食生活の充実

一般市民の朝食摂取の割合は、ほぼ横這いとなっていますが、バランスのとれた食事、野菜摂取、減塩の一般市民の割合は増加しています。親子の割合はいずれも低くなっています。

指標		平成28年度 策定時	令和4年度 中間値	令和8年度 目標値	判定
朝食を週6日以上とっている人の割合	一般	77.1%	76.5%	100%に 近づける	△
	親子	80.0%	69.1%	100%に 近づける	×
バランスのとれた食事を週6日以上とっている人の割合	一般	51.6%	56.1%	60%	○
	親子	45.5%	37.2%	増加	×
一日の野菜4皿（280g）以上分とっている人の割合	一般	8.9%	10.0%	増加	◎
	親子	11.6%	4.3%	増加	×
減塩に取り組んでいる割合	一般	53.1%	55.0%	増加	○
	親子	55.2%	51.4%	増加	×



(基本施策3) 適度な身体活動・運動の継続

ロコモティブシンドローム^{※1}を知っている人、体を動かしている人の割合は増加していますが、スポーツリーダーバンク^{※2}に登録している人は減少しています。

指標		平成28年度 策定時	中間値	令和8年度 目標値	判定
ロコモティブシンドロームの認知度	全体	11.6%	17.6% (令和4年度)	80%	○
日常生活の中で、健康の維持・増進のために意識的に体を動かしている人の増加(いつもしている・時々している人の計)	全体	59.8%	68.6% (令和4年度)	増加	◎
スポーツリーダーバンクの登録数	全体	36人	26人 (令和3年度)	38人	×

※1 ロコモティブシンドローム:運動器(身体運動に関わる骨、筋肉、関節、神経などの総称)の障害による要介護の状態や要介護リスクの高い状態を表す新しい言葉で、「運動器症候群」ともいいます。

※2 スポーツリーダーバンク:スポーツ・レクリエーション活動の普及推進を目的に技術・能力を提供する意思のある指導者の登録・紹介などを行う制度

削除する指標

スポーツリーダーバンクの登録数

(理由:スポーツリーダーバンク制度は、令和4年3月31日付けで廃止となっているため)

(基本施策4) 休養とこころの健康づくり

自殺者の割合は減少していますが、相談相手がいる人の割合は、男性は増加していますが女性は減少しています。また、十分な睡眠をとれていない人の割合はほぼ横這いとなっています。

指標		平成28年度 策定時	中間値	令和8年度 目標値	判定
自殺者の割合	全体	21.3 (人口10万対)	16.69 (令和3年度)	減少	◎
困ったことや悩み事等の相談相手がいる人の割合	全体	78.8%	77.4% (令和4年度)	増加	△
	男性	70.0%	73.1% (令和4年度)	増加	○
	女性	85.1%	80.8% (令和4年度)	増加	×
十分な睡眠をとれていない人の割合(あまりとれていない・まったくとれていない人の合計)	全体	23.9%	23.3% (令和4年度)	減少	△

追加する指標

指標	現状値 令和3年度	目標値	追加理由
ゲートキーパー養成講座の受講者数(累計)	430人	700人	身の回りに相談できる人が増加しているかを評価するため。

(基本施策5) 禁煙・受動喫煙防止対策・適正飲酒への取り組み

妊娠中の飲酒率、受動喫煙の機会は減っています。COPD[※]を知っている人は増えています。一方で、妊娠中の喫煙率はやや増加し、飲酒の頻度が「毎日」の人の割合は増えています。

指標		平成28年度 策定時	中間値	令和8年度 目標値	判定
妊娠中の喫煙率	女性	1.1%	1.4% (令和3年度)	0%	×
妊娠中の飲酒率	女性	1.3%	0.7% (令和3年度)	0%	○
受動喫煙の機会があった人(職場)	全体	30.0%	16.3% (令和4年度)	減少	◎

指標		平成28年度 策定時	中間値	令和8年度 目標値	判定
受動喫煙の機会があった人（家庭）	全体	18.7%	11.9% （令和4年度）	減少	◎
COPDの認知度（どんな病気かよく知っている人）	全体	11.1%	16.0% （令和4年度）	80%	○
飲酒の頻度が「毎日」の人の割合	全体	15.9%	18.2% （令和4年度）	減少	×

※ COPD：咳や痰、息切れが主な症状で、「慢性気管支炎」と「肺気腫」のどちらか、または両方によって肺への空気の流れが悪くなる病気で、慢性閉塞性肺疾患ともいいます。長年の喫煙習慣が主な原因の肺の生活習慣病です。

（基本施策6）歯と口腔の健康づくり

歯と口腔の健康づくりに関する指標は、多くで達成されています。かかりつけ医を持っている人の割合、むし歯のない人の割合、仕上げみがきをする親の割合、定期歯科検診を受けている人の割合、8020運動^{※1}について知っている人の割合はいずれも増加し、重度の歯周病に罹患している人の割合はやや減少しています。一方で、成人歯科検診の受診率は減少しています。

※1 8020（はちまるにいまる）運動：「80歳になっても20本以上自分の歯を保とう」という運動です。20本以上の歯があれば、食生活にほぼ満足できると言われています。

指標		平成28年度 策定時	中間値	令和8年度 目標値	判定
かかりつけ歯科医を持っている者の割合	3歳児	38.2%	42.3% （令和3年度）	増加	◎
むし歯のない者の割合	3歳児	75.1%	86.9% （令和3年度）	80%以上	◎
	12歳児	65.4%	71.5% （令和3年度）	維持	◎
仕上げみがきをする親の割合	1歳6か月児	79.6%	94.8% （令和3年度）	100%	○
歯肉に炎症を有する者の割合	小学生	5.5%	3.9% （令和3年度）	減少	◎
	中学生	8.2%	7.1% （令和3年度）	減少	◎
成人歯科検診受診率	40歳以上	0.56%	0.33% （令和3年度）	増加	×
重症の歯周病に罹患している者の割合	40歳代	67.4% (27.4%) ^{※2}	66.7% （令和3年度）	20%以下	△
	50歳代	78.8% (42.4%) ^{※2}	73.7% （令和3年度）	20%以下	○
定期歯科検診を受けている者の割合	全体	32.1%	48.4% （令和4年度）	53.0%	○
8020運動について知っている者の割合	全体	19.5%	64.4% （令和4年度）	増加	◎

※2 歯周病検診マニュアルの見直しにより、歯周病の判定基準が変更となったため、括弧内は計画策定時（変更前）の数値を表示しています。

目標値を見直す指標

指標		変更前	変更後	変更理由
重症の歯周病に罹患している者の割合	40歳代	20%以下	60%	検診基準が見直されたことにより、歯周病の算定方法が変更になったことから、見直し後の中間値をもとに目標値の見直しを行います。
	50歳代	20%以下	60%	

【基本目標2】ライフステージに合わせた健康づくりを行います

（基本施策1）安心して子どもを産み育てられる支援体制の充実

妊娠・出産について満足している人の割合は、目標値に達しています。1歳6か月児の健診の受診率は増加していますが、妊娠届出数の割合や3～6か月児の健診受診率の割合は減少し、未受診者の状況把握率も低下しています。2歳未満でのスマートフォンやタブレットの使用割合は大きく増加しています。

指標		平成28年度 策定時	中間値	令和8年度 目標値	判定
妊娠11週以下での妊娠届出数の割合		95.7%	96.0% (令和3年度)	100%	△
低出生体重児の割合		5.7%	7.6% (令和3年度)	減少	×
妊娠・出産について満足している人の割合		76.9%	87.7% (令和3年度)	85%	◎
乳幼児健康診査の受診率	3～6か月児	85.0%	82.0% (令和3年度)	97%	△
	1歳6か月児	91.0%	94.2% (令和3年度)	97%	△
	3歳児	89.0%	89.8% (令和3年度)	95%	△
1歳6か月児健康診査・3歳児健康診査の未受診者の状況把握率	1歳6か月児	81.0%	68.1% (令和3年度)	100%	×
	3歳児	89.4%	53.9% (令和3年度)	100%	×
2歳未満でスマートフォンやタブレット等を使用している割合		43.3%	81.0% (令和4年度)	減少	×

（基本施策2）次世代に向けた保健対策の充実

毎日の朝食摂取は、小学生・中学生とも目標値に達しています。10代で妊娠を知った時に戸惑いや、不安を感じた人の数も目標値に達しています。児童・生徒の痩身傾向児の割合は、女子は減少していますが、男子は横這い、肥満傾向児の割合は男子、女子とも増加しています。

指標		平成28年度 策定時	令和3年度 中間値	令和8年度 目標値	判定
児童・生徒の痩身傾向児の割合 (中1)	全体	2.7%	2.3%	1%	○
	男子	2.4%	2.4%	1%	△
	女子	3.2%	2.4%	1%	○
児童・生徒の肥満傾向児の割合 (中1)	全体	9.3%	11.9%	7%	×
	男子	10.9%	12.9%	7%	×
	女子	7.6%	10.9%	7%	×
毎日、朝食をとっている児童の割合（小学生）		84.0%	88.0%	88%	◎
毎日、朝食をとっている生徒の割合（中学生）		76.8%	84.9%	83%	◎
歯肉に炎症のある10代の割合（小学生）		5.5%	3.9%	減少	◎
歯肉に炎症のある10代の割合（中学生）		8.2%	7.1%	減少	◎
10代で妊娠を知った時に、戸惑ったり不安を感じた人の人数		6名	0名	0名	◎

（基本施策4）介護・認知症予防対策（高年期）

健康教室の実施、講座の受講者数いずれも増加しています。

指標	平成28年度 策定時	令和3年度 中間値	令和8年度 目標値	判定
認知症・介護予防に関する健康教室の実施	125回	142回	170回	○
認知症サポーター養成講座受講者数	3,383人	5,884人	9,200人	○

【基本目標3】地域の支えあいによる健康づくりを推進します

(基本施策1) 子どもの健やかな成長を見守り育む地域づくり

ゆったりとした気分で子どもと過ごせる母親の割合、この地域で子育てをしたいと思う親の割合いずれも目標値に達しています。育児について相談相手がいる割合、育てにくさを感じた時に相談先や解決方法を知っている親の割合は増加しています。これに対し、子どもを虐待していると思う親の割合は増加しています。

指標	平成28年度 策定時	令和3年度 中間値	令和8年度 目標値	判定	
育児について相談相手がいる割合	98.5%	99.3%	100%	△	
ゆったりとした気分で子どもと過ごせる母親の割合	69.1%	79.9%	72.8%	◎	
育てにくさを感じた時に相談先 や解決方法を知っている親の割合	1歳6か月児	72.5%	79.6%	95%	○
	3歳児	73.4%	85.3%	95%	○
この地域で子育てをしたいと思う親の割合	88.8%	97.0%	95%	◎	
子どもを虐待していると思う親の割合	1.2%	18.2%	0%	×	

指標の見直し

変更前：子どもを虐待していると思う親の割合

指標	変更内容・理由												
乳幼児期に体罰や暴言、ネグレクト等によらない子育てをしている親の割合	<p>市の乳幼児健診等で実施するアンケートにおける設問(国の「健やか親子21(第2次)」において必須とする設問項目)における設問において、「しつけのし過ぎ」「感情的に叩く」等の選択肢を回答した者を分子に置き、指標の割合を算出していましたが、指標と設問内容が一致していないことから、体罰や暴言、ネグレクト等によらない子育てをしている親の割合へ変更し、当該アンケートにおいて「いずれにも該当しない」と回答した者を分子に置く算出方法に変更します。</p> <p>これに併せて、国の「健やか親子21(第2次)」に基づき以下の目標値を新たに設定します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>現状値(令和3年度)</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3・4か月児</td> <td>95.5%</td> <td>98.0%</td> </tr> <tr> <td>1歳6か月児</td> <td>81.6%</td> <td>85.0%</td> </tr> <tr> <td>3歳児</td> <td>68.4%</td> <td>70.0%</td> </tr> </tbody> </table>	対象	現状値(令和3年度)	目標値	3・4か月児	95.5%	98.0%	1歳6か月児	81.6%	85.0%	3歳児	68.4%	70.0%
対象	現状値(令和3年度)	目標値											
3・4か月児	95.5%	98.0%											
1歳6か月児	81.6%	85.0%											
3歳児	68.4%	70.0%											

(基本施策2) 継続的な健康づくりに取り組むための地域づくり

ボランティア活動に関心のある人の割合、活動実績、地区保健推進員の活動回数、いずれも減少しています。

指標	平成28年度 策定時	中間値	令和8年度 目標値	判定
健康に関するボランティア活動に関心のある人の割合(活動したい・できれば活動したい人の計)	40.9%	29.2% (令和4年度)	増加	×
「健康ぼらんていあ」の活動実績	157回	78回 (令和3年度)	増加	×
地区保健推進員活動回数	67回	27回 (令和3年度)	増加	×
居住地域でお互い助け合っていると思う人の割合※	40.0%	—	増加	—

※ 中間値がなく、現時点で評価を行うことができませんでした。

【基本目標4】健康を支える環境を整えます

（基本施策1）地域医療の推進

小児救急相談を知っている親の割合、在宅医療・介護連携支援センターの設置いずれも目標値を達成しています。かかりつけ医をもつ人や親の割合、かかりつけ歯科医をもつ人や親の割合いずれも増加となっています。

指標	平成28年度 策定時	中間値	令和8年度 目標値	判定
かかりつけ医をもつ人の割合	67.4%	71.4% (令和4年度)	増加	○
かかりつけ医をもつ親の割合(3歳児)	73.0%	84.7% (令和3年度)	増加	◎
かかりつけ歯科医をもつ人の割合	70.8%	76.9% (令和4年度)	増加	○
かかりつけ歯科医をもつ親の割合(3歳児)	38.2%	42.3% (令和3年度)	増加	○
小児救急相談(#8000)を知っている親の割合	76.0%	91.7% (令和3年度)	90%	◎
在宅医療・介護連携支援センターの設置	0施設	1施設 (令和3年度)	1施設	◎

（基本施策2）健康づくりに関する社会資源の整備

健康教育の実施回数、医療相談ホットライン^{※1}の利用回数とも増加しています。教育相談員^{※2}の配置学校数は横這いです。

指標	平成28年度 策定時	令和3年度 中間値	令和8年度 目標値	判定
健康教育の実施回数	96回	117回	150回	○
医療相談ホットライン ^{※1} の利用回数	9,180件	9,434件	増加	△
教育相談員の配置学校数	12校	12校	17校	△

※1 フリーダイヤルにより健康、医療、介護、育児、メンタルヘルスなどの相談に、医師や保健師等が、24時間年中無休でアドバイスを行う電話相談（フリーダイヤル）



成田市健康増進計画【2017年4月～2027年3月】 中間評価（中間見直し）概要版

成田市健康こども部健康増進課

〒286-0017 千葉県成田市赤坂1-3-1（成田市保健福祉館内）

Tel. 0476-27-1111